

目次

・ 神奈川県らしいスマート農業	・・・	2 ページ
・ あなたにおすすめの環境制御機器	・・・	3 ページ
・ 環境の見える化と成育の見える化	・・・	4 ページ
・ 成育診断に基づいた環境制御	・・・	5 ページ
・ 環境制御取組事例	・・・	7 ページ
・ 経営モデル・栽培モデル集		
①既存施設活用・収量重視タイプ	・・・	10 ページ
②既存施設活用・品質重視タイプ	・・・	12 ページ
③経営拡大タイプ	・・・	14 ページ
・ CO ₂ 施用について	・・・	16 ページ
・ 環境モニタリング機器と統合環境制御機器の例	・・・	18 ページ
・ CO ₂ 発生装置とミスト発生装置の例	・・・	19 ページ

凡例



・・・施設園芸全般に関係



・・・トマトに関係



・・・キュウリに関係

神奈川県らしいスマート農業



本県の施設園芸（トマト）の特徴

- ・ 中小規模の施設が多い
(10a程度の施設を2～3棟所有)
- ・ 市場出荷以外に、直売も多い
- ・ 経営体ごとに、目指す経営が様々
→スマート農業への期待も様々
(収量、品質、省力化、病害虫・・・)



スマート農業を導入して目指す様々な将来像の例（トマト）

- ・ 規模拡大して企業的な経営に → 経営面積60a、30 t /10a
- ・ 最低限のコストで収量を上げたい → 既存の施設で20 t /10a
- ・ 量販店のニーズに応え収穫期拡大 → 作型を組合せ9～7月まで収穫
- ・ 収量を落とさず、味にこだわりたい → 平均糖度6、収量15 t /10a